

When she was 36 years old, / Agatha Christie left home one foggy night
 and disappeared.
S V₁ O₁

But then, / eleven days after her disappearance, / the head waiter at a hotel
V₂ 逆接 S
 in North Yorkshire noticed / [that one of the female guests looked similar
V O S' V' C'
 to the newspaper photos of the missing novelist].
= Agatha Christie

内容Check!

問 次の各文が正しければ () に○を、誤っていれば×を記入しなさい。

1. When she was 36 years old, Agatha came back home from Africa. ()
2. The police suspected somebody had killed Agatha. ()
3. Agatha was found by the head waiter at a hotel in North Yorkshire. ()

覚えておきたい表現

with + 名詞 + 形容詞 [分詞] 「～(名詞) が…(形容詞や分詞) の状態で」

ℓ. 2 : her car was found halfway down a grassy bank **with its hood stuck in the bushes** 「彼女の車はボンネットを茂みに突っ込んだ状態で、草の茂った土手を半分下りたところで発見された」

・ with + 名詞 + 形容詞 [分詞] の形で「～(名詞) が…(形容詞や分詞) の状態で」という付帯状況を表す。
 stuck は stick 「～を貼り付ける；～を刺し通す」の過去分詞で「車のボンネットの部分が土手の茂みの中にさし込まれた状態で」の意味。

Ex. He left school **with his head filled** with facts and rules. 「彼は、頭の中を事実や法則でいっぱいにして学校を卒業した。」

despite ～ 「～にもかかわらず」

ℓ. 7 : **Despite** the extensive police search of the whole area 「警察による全地域の大規模な捜索にもかかわらず」

・ despite ～は「～にもかかわらず」という意味で、in spite of ～と同じ意味。前置詞なので despite + 名詞の形をとる。despite を接続詞と勘違いして S' + V' を続けないように注意。

Ex. **Despite** all our efforts to save the hospital, the city decided to close it. 「病院を存続させようという私たちの努力にもかかわらず、市は閉院を決定した。」

look similar to ～ 「～に似ているように見える」

ℓ. 10 : one of the female guests **looked similar to** the newspaper photos of the missing novelist 「女性宿泊客の1人が新聞の行方不明の小説家の写真に似ているようだった」

・ look similar to ～ 「～に似ているように見える」: be similar to ～ 「～に似ている」の be 動詞が動詞 look に置き換えられたもの。この to は前置詞で、後ろには名詞がくる。

Ex. The building **looks similar to** Osaka Castle, only smaller in size. 「その建物は大阪城によく似ている。ただ規模は小さいが。」

整理しよう! *段落要旨・構造*

1 アガサ・クリスティーの失踪時の状況

- ・ 36歳のある夜に失踪した。
- ・ 翌朝、土手で車とコートだけが発見された。

◆ ℓ. 4 **But** 「しかし: 逆接」

アガサの気配はなし。

→ 警察は自殺未遂を疑った。

2 アガサの発見

- ・ 警察の広範囲の捜査にもかかわらず、発見できなかった。

◆ ℓ. 8 **But** 「しかし: 逆接」

失踪から11日後、ホテル従業員が、アガサに似た女性客に気づいた。

背景知識

●失踪の理由は？

1926年当時から、アガサ・クリスティーが失踪した理由は、①夫の不倫に耐えかねたアガサが夫を懲らしめるため、失踪事件という騒ぎを起こそうと思い立ったというもの、②アガサが記憶喪失に陥って行方不明になったというものの2つが主流であり、少数派のものとして、売名行為だとするもの、ドライブ中の事故で脳震盪になり記憶喪失になったとする説もある。

アガサの当時の夫アーチボルド・クリスティーはアガサの失踪期間中、アガサの失踪について生死両方の可能性を示唆し、生きているのであれば、自分の意志で身を隠したか、記憶喪失となったかのいずれかであると、死んでいるならば自殺したのではないかと述べている。アガサは生きて帰ってきたわけだが、アガサ自身の証言が少ないこともあって、その理由については不明のままとなってしまった。

多数派の説では、大切な母親が亡くなったことや、夫の不倫が判明したことなど、私生活での大きなストレスによりアガサ自身が行き詰まりを感じたことが事件と大きく関係があるとしている。しかし、少数派の説明にある事故による記憶喪失説では、事件の背景にあるストレスを考慮に入れず、あくまで事故といった外傷的なものを要因とするので、この背景を事件と結びつけるかどうかについては意見が分かれると言えるだろう。

深めたい人に : J・モーガン著、深町眞理子、宇佐川晶子訳『アガサ・クリスティーの生涯』(早川書房、1987年)、ジャレット・ケイド著、中村妙子訳『なぜアガサ・クリスティーは失踪したのか?』(早川書房、1999年)